



平成28年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス

コード番号 2157 URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 土井 義人

TEL 03-6403-5710

四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第1四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第1四半期	11,143	11.9	623	△ 18.6	638	△ 20.6	307	△ 3.0
27年8月期第1四半期	9,959	23.3	765	69.8	804	67.1	316	25.7

(注) 包括利益 28年8月期第1四半期 331 百万円 (△33.8%) 27年8月期第1四半期 501 百万円 (68.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第1四半期	16.63	—
27年8月期第1四半期	16.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第1四半期	30,351	13,906	44.1
27年8月期	30,663	14,052	43.7

(参考) 自己資本 28年8月期第1四半期 13,381 百万円 27年8月期 13,397 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	15.00	—	15.00	30.00
28年8月期	—	—	—	—	—
28年8月期 (予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,930	12.2	2,273	△ 15.9	2,291	△ 16.6	1,082	△ 16.3	58.63
通期	49,607	12.1	4,939	12.4	5,019	11.7	2,410	14.8	130.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 有 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
| ③ 会計上の見積もりの変更 | 無 |
| ④ 修正再表示 | 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

28年8月期1Q	19,200,000株	27年8月期	19,200,000株
28年8月期1Q	745,360株	27年8月期	745,360株
28年8月期1Q	18,454,640株	27年8月期1Q	18,954,680株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
（会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示）	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済において、海外需要の減速を受けて企業部門の収益は足踏み感が漂う一方で、原油安と賃金増により好転が期待された個人消費は、インバウンド需要を除き緩慢であったため、今一つ弾みに欠けてしまいました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

【カラオケ】

高齢者の増加とカラオケの楽しみ方の多様化・個別化は、午前利用客の増加と組当り利用者数の減少を齎し、一方でコアな利用客の利用時間拡大に繋がりました。

ターゲット顧客層が重なりあう首都圏への集中出店、自社端末「すきっと」を武器としたコンテンツホルダーとの当社独自コラボレーション企画の多面的な推進、更に将来の中核顧客層を創るために高校生にフォーカスした新サービス「ZEROカラ」を開始しました。

社員個々のモチベーションと経営者意識の涵養を図る教育に取り組み、そして社員独立制度による独立者育成に一層力を注ぎ、独立者が運営する店舗は16店舗となりました。

韓国ではソウル周辺に直営店舗を増やし、シンガポールではスクラップアンドビルドを行い、東南アジアにおける店舗を拡充しております。

当第1四半期連結会計期間末のカラオケセグメント国内店舗数は、前連結会計年度末比13店舗増加し425店舗となり、リニューアルは12店舗行いました。海外店舗数は、20店舗（シンガポール10店舗、韓国10店舗）となっております。

この結果、カラオケセグメントの売上高は60億76百万円（前年同期比17.5%増）、セグメント損失は3億34百万円（前年同期比2億3百万円損失額増加）となりました。

【カーブス】

一人一人が正しい運動習慣と食生活を身につけ習慣化することができ、その結果病気にかからずに介護も必要となくなる。このような不安の無い生活の実現を目指して、各種サービスの革新と会員サポート、そして店舗網の充実に努めております。

店舗でのサーキットトレーニングと相乗効果の高いプロテインの会員による定期購入も順調に拡がり、会員向け物販売上の伸びも、業容の拡大に貢献しております。

当第1四半期連結会計期間末の国内カーブス店舗数は、前連結会計年度末比35店舗増加（増加率2.1%）し1,637店舗（内グループ直営店52店舗）に、会員数は31千人増加（増加率4.3%）し742千人となりました。

この結果、カーブスセグメントの売上高は46億35百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益は11億50百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

【温浴】

人材育成及びコスト管理において、カラオケ事業で培ってきた様々なノウハウを活用するとともに、固定費特に水道光熱費削減に向けて抜本的改革を行い、温浴施設経営の再生に取り組んでおります。

この結果、温浴セグメントの売上高は3億53百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント損失は17百万円（前年同期比55百万円損失額減少）となりました。

【不動産管理】

不動産管理セグメントの売上高は78百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント利益は23百万円（前年同期比23.2%減）となりました。

以上により、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第1四半期連結累計期間の売上高は111億43百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益6億23百万円（同18.6%減）、経常利益6億38百万円（同20.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億7百万円（同3.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億11百万円減少し、303億51百万円（前連結会計年度末比1.0%減）となりました。

（流動資産）

流動資産は15億59百万円減少し98億88百万円（同比13.6%減）となりました。これは主に、現金及び預金が20億80百万円減少したことなどによるものです。

（固定資産）

有形固定資産は11億82百万円増加し135億5百万円（同比9.6%増）となりました。これは主に、建物及び構築物が7億84百万円および車両運搬具及び工具器具備品が5億29百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は3億19百万円減少し27億71百万円（同比10.3%減）となりました。これは主に、のれんが2億61百万円減少したことなどによるものです。

投資その他の資産は3億85百万円増加し41億85百万円（同比10.2%増）となりました。これは主に、長期貸付金が2億円増加したことなどによるものです。

固定資産の総額は12億48百万円増加し204億62百万円（同比6.5%増）となりました。

（流動負債）

流動負債は7億14百万円減少し93億15百万円（同比7.1%減）となりました。これは主に、未払法人税等が6億32百万円減少したことなどによるものです。

（固定負債）

固定負債は5億48百万円増加し71億29百万円（同比8.3%増）となりました。これは主に、長期借入金が4億21百万円増加したことなどによるものです。

負債の総額は1億66百万円減少し164億44百万円（同比1.0%減）となりました。

（純資産）

純資産は1億45百万円減少し139億6百万円（同比1.0%減）となりました。これは主に、少数株主持分が1億29百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示）

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,187,438	4,106,731
受取手形及び売掛金	2,258,528	2,146,706
商品	732,145	830,846
原材料及び貯蔵品	188,536	222,123
繰延税金資産	308,724	268,527
その他	1,804,508	2,350,089
貸倒引当金	△31,052	△36,026
流動資産合計	11,448,828	9,888,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,092,247	8,876,993
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	1,966,641	2,496,602
土地	1,965,917	1,965,917
リース資産(純額)	169,820	149,957
建設仮勘定	129,137	16,475
有形固定資産合計	12,323,765	13,505,946
無形固定資産		
のれん	2,082,803	1,821,018
ソフトウェア	1,001,208	945,197
その他	6,922	5,034
無形固定資産合計	3,090,934	2,771,250
投資その他の資産		
投資有価証券	494,808	495,404
関係会社株式	28,637	28,637
長期貸付金	400,097	600,726
長期前払費用	87,598	83,955
敷金及び保証金	2,476,787	2,546,681
繰延税金資産	287,888	385,805
その他	38,596	59,313
貸倒引当金	△14,591	△14,905
投資その他の資産合計	3,799,822	4,185,619
固定資産合計	19,214,522	20,462,816
資産合計	30,663,351	30,351,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,830,734	1,583,818
1年内返済予定の長期借入金	2,231,512	2,376,712
リース債務	69,927	62,940
未払金	1,110,216	1,574,651
未払費用	925,993	1,033,422
未払法人税等	1,021,373	388,387
賞与引当金	223,125	108,090
預り金	1,549,419	1,563,400
その他	1,067,798	623,881
流動負債合計	10,030,101	9,315,305
固定負債		
長期借入金	5,122,004	5,543,673
リース債務	122,516	108,064
繰延税金負債	167,336	247,410
資産除去債務	925,551	1,007,489
その他	243,650	222,873
固定負債合計	6,581,059	7,129,511
負債合計	16,611,161	16,444,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	493,600	493,600
資本剰余金	483,600	483,600
利益剰余金	13,480,094	13,510,287
自己株式	△1,200,797	△1,200,797
株主資本合計	13,256,497	13,286,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,195	28,061
為替換算調整勘定	114,203	67,056
その他の包括利益累計額合計	141,399	95,118
非支配株主持分	654,292	525,190
純資産合計	14,052,190	13,906,998
負債純資産合計	30,663,351	30,351,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)
売上高	9,959,352	11,143,852
売上原価	7,639,547	8,946,587
売上総利益	2,319,805	2,197,264
販売費及び一般管理費	1,554,164	1,574,224
営業利益	765,641	623,040
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,726	9,833
為替差益	12,716	—
その他	29,328	19,864
営業外収益合計	49,771	29,697
営業外費用		
支払利息	4,787	5,809
為替差損	—	6,515
その他	6,396	2,150
営業外費用合計	11,184	14,475
経常利益	804,228	638,263
特別利益		
固定資産売却益	59	87,580
特別利益合計	59	87,580
特別損失		
固定資産除却損	48,525	20,691
減損損失	66,391	—
店舗閉鎖損失	82,186	—
特別損失合計	197,102	20,691
税金等調整前四半期純利益	607,184	705,152
法人税、住民税及び事業税	289,151	301,908
法人税等調整額	△70,071	25,334
法人税等合計	219,080	327,242
四半期純利益	388,104	377,909
非支配株主に帰属する四半期純利益	71,667	70,897
親会社株主に帰属する四半期純利益	316,436	307,012

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成27年11月30日)
四半期純利益	388,104	377,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,678	865
為替換算調整勘定	96,269	△47,147
その他の包括利益合計	112,947	△46,281
四半期包括利益	501,051	331,627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	429,383	260,730
非支配株主に係る四半期包括利益	71,667	70,897

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	計			
売上高								
外部顧客への売上高	5,171,581	4,359,652	349,490	78,628	9,959,352	9,959,352	—	9,959,352
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,171,581	4,359,652	349,490	78,628	9,959,352	9,959,352	—	9,959,352
セグメント利益又は損失(△)	△131,243	1,099,969	△73,771	30,887	925,842	925,842	△160,201	765,641

(注) 1. セグメント利益の調整額△160,201千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カラオケ」セグメントにおいて、閉店店舗について45,041千円、「カーブス」セグメントにおいて、権利金について21,350千円の減損損失(特別損失)を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間より、「カラオケ」セグメントにおいて、KOSHIDAKA INTERNATIONAL PTE.LTD.、KOSHIDAKA MANAGEMENT SINGAPORE PTE.LTD.、K BOX ENTERTAINMENT GROUP PTE.LTD.他9社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、1,143,210千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成27年9月1日至平成27年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	計			
売上高								
外部顧客への売上高	6,076,932	4,635,123	353,437	78,359	11,143,852	11,143,852	—	11,143,852
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,076,932	4,635,123	353,437	78,359	11,143,852	11,143,852	—	11,143,852
セグメント利益又は損失(△)	△334,450	1,150,068	△17,880	23,713	821,452	821,452	△198,411	623,040

(注) 1. セグメント利益の調整額△198,411千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。